

第3章 嵯峨嵐山地区のまちづくりの方向性

嵯峨嵐山地区基本構想は、京都市基本計画や京都市都市計画マスタープランなどの京都市の上位計画に掲げられている“バリアフリーのまちづくり”の一環として位置付けられるものです。

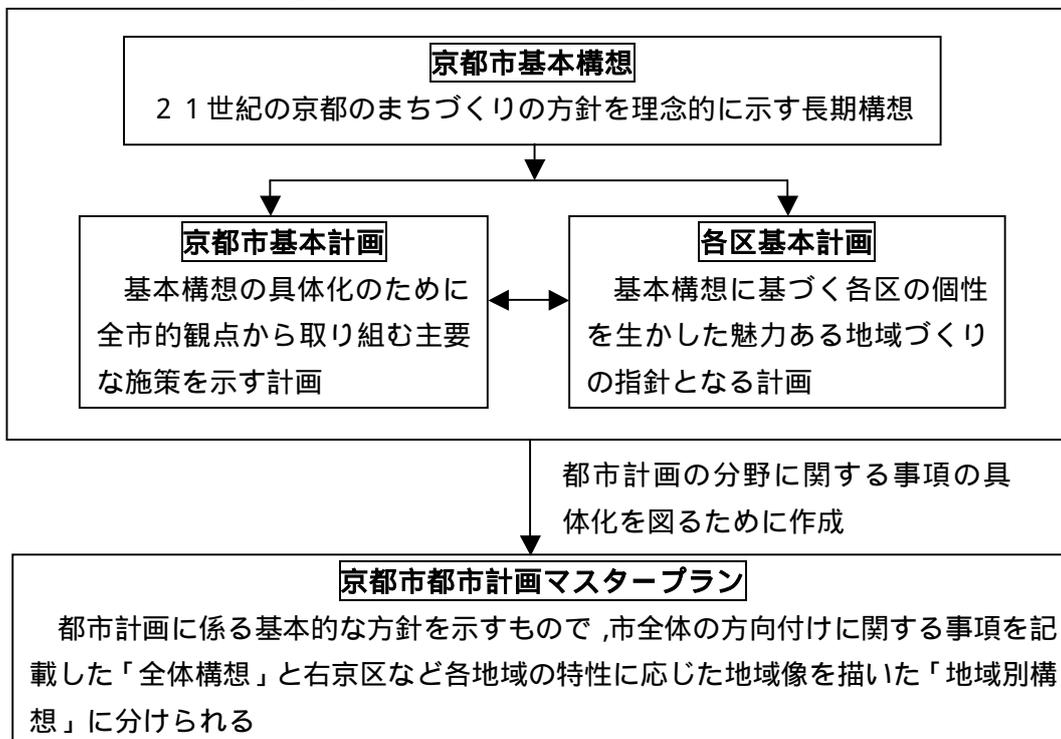
一方、嵯峨嵐山地区基本構想は、JR嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅及び京福嵯峨駅前駅を中心とした比較的狭い地域を対象としたものであるため、地区の特性やまちづくりの方向性にも十分配慮した構想を策定することが必要となります。

このことから、嵯峨嵐山地区基本構想を策定するに当たり、まず、京都市の上位計画における右京区のまちづくりの方向性を踏まえた上で、嵯峨嵐山地区のまちづくりの方向性を整理することとします。

1 上位計画の構成

上位計画の構成を図-5に示します。

図-5 上位計画の構成



2 右京区のまちづくりの方向性

右京区のまちづくりの方向性は、上位計画の中の右京区基本計画と京都市都市計画マスタープランの地域別構想から以下のように示すことができます。

(1) 右京区基本計画

右京区基本計画では、将来像である「人と自然と歴史が織りなす明るい未来」の実現に向けたまちづくりの目標と取組を提示しており、以下のように、2つのキャッチフレーズのもとで、それぞれ3つの構想を掲げています。

「暮らし・ふれあい・やすらぎ 右京」

支え合うやすらぎのまち構想

誰もが主役・生きがいのまち構想

住環境の魅力アップ構想

「にぎわい・もてなし・はなやぎ 右京」

気軽に出かけられるまち構想

歴史と文化の観光ネックレス構想

映画とものづくりのまち構想

(2) 京都市都市計画マスタープラン

京都市都市計画マスタープランの地域別構想においては、右京区のまちづくりについて以下の4つの目標を掲げています。

都市居住からみた目標

基盤が整い、優れた居住環境を備えた住工共存のまちをつくる

都市活動からみた目標

活力あふれるものづくり産業のまちをつくる

都市環境からみた目標

豊かな自然や歴史環境を生かしたまちをつくる

都市交通からみた目標

多様な都市活動を支える交通基盤の整ったまちをつくる

3 嵯峨嵐山地区のまちづくりの方向性

上位計画に示されている右京区のまちづくりの方向性を踏まえ、嵯峨嵐山地区のバリアフリー化を推進していくに当たっての配慮すべき嵯峨嵐山地区のまちづくりの方向性を以下のように整理します。

(1) 「観光」と「住」の共存できるまちづくりの推進

自然と歴史にはぐくまれた、京都を代表する景勝地をひかえ、観光と居住が調和する「京都の顔」にふさわしい地域としてのまちづくりを推進します。

(2) 誰もが安心してくらすことのできるやさしい交通環境づくりの推進

すべての人にやさしいまちとするために、駅や道路などのバリアフリー化に取り組み、歩行者にとって安心、安全、快適な交通環境づくりを推進します。

(3) 地区への来訪者にやさしい施設整備の推進

地区のにぎわいをもたらす多くの観光来訪者にとって、利用しやすい安全で快適な施設整備を推進します。

(4) ふれあい、支え合う仕組みのあるまちづくりの推進

歴史あるコミュニティを維持、継承するとともに、地域の連帯感を深め、やすらぎのあるまちづくりを推進します。